

人斬り銀次

宮坂武志 監督作品

戦後50年、全てを背負ったまま
今を生き抜く一人の男がいた。

竹内力
夏八木勲

腐った日本、ぶった斬る。

つぐみ 益子智行 船木誠勝 磨 赤兒
永澤俊矢 古尾谷雅人 鶴見辰吾
石橋蓮司

製作代表:仁平幸男/猿川直人 企画・原案:石田幸一 企画プロデューサー:服巻泰三/安村重幸/佐各秀実 プロデューサー:片嶋一貴 脚本:吉川次郎
音楽:奥野敬士 撮影:富田伸二 照明:佐藤才輔 美術:塩田仁 録音:菊池信之 編集:矢船陽介 音響効果:丹雄二 助監督:江良圭 製作担当:山邊博文/大日方敦史 脚本協力:矢口義文
スタントコーディネーター:辻井啓伺 ビジュアル・エフェクト:オムニバス・ジャパン 製作:株式会社ケイエスエス/日活株式会社 製作プロダクション:スープレックス/エム・アルビー 配給:宣伝:日活 宣伝協力:アルゴ・ピクチャーズ
主題歌「エンドレス・フルムーン」歌:作詞:作曲 奥野敬士 アルバム「永遠に満月」より (FLME) 2003年製作/カラー/ビスタサイズ/121分 ©2003 ケイエスエス/日活 www.kss-movie.com/hitokiri/



戦後から続く現代日本の暗部を凝縮し、「これからの日本人の在り方」をも問う

衝撃の問題作!!

終戦後の日本。軍刀で群がる愚連隊をなぎ倒し

“人斬り銀次”として恐れられた
“特攻隊の生き残り”がいた…。

曾根崎銀次、29歳。

銀次は収監され、それから50年が過ぎた。

2003年、彼は突然釈放され

変わり果てた現代社会に放り出される。

銀次が成すべきことはたった一つ。

“あの事件”の決着をつけること。

そして銀次の釈放を機に、闇の世界が蠢き始める…。

X 竹内力、夏八木 勲。衝撃のダブルキャスト!

終戦間際から戦後50年の永きに亘る一人の男の「現在」と「過去」…。

現代社会で彷徨う“特攻隊の生き残り”が、己の力で過去に決着をつけ、静かに燃え尽きようとするまでを「二人の銀次」で激しく魅せる!竹内力(『ハトル・ロワイアルII』『DEAD OR ALIVE』)の激しく哀切が滲む演技、夏八木 勲(『宣戦布告』『T.R.Y.トライ』)が見せる男の慟哭は必見!

X 激しく交錯する人間模様、重厚な人間ドラマ!

失われた命、戦争が残した傷跡、現代日本の闇、人々の想い…。銀次の人生に関わり、彼を時代の流れに容赦なく巻き込んでゆく登場人物には、石橋蓮司(『13階段』)、鶴見辰吾(『風花』)、磨 赤児(『自殺サークル』)、船木誠勝(『シャドー・フェューリー』)、つぐみ(『月光の囁き』)、益子智行(『座敷童 百物語』)、古尾谷雅人(『ホワイトアウト』)、永澤俊矢(『スパイゾルゲ』) 他の豪華演技陣。時には熱く、時に静かに、心に沁みる演技が感動を呼んでやまない。

監督は「大怪獣東京に現わる」、2003年春公開『新・影の軍団』の宮坂武志。戦後50年の悔恨に今なお歯がみする男たちの運命を、凄絶なアクションシーンを交えて描ききる。冒頭の“人斬り”シーンはまさに凄絶!宮坂監督による細やかな演出と大胆で鮮烈な映像で魅せる、重厚感溢れる骨太の社会派ドラマである。またロックバンドROGUE(ローク)を経て音楽・俳優活動を続ける奥野敦士による主題歌「エンドレス フルムーン」(アルバム「永遠に満月」<FLME>より)が、本作のラストを飾る。

製作:ケイエスエス、日活
製作プロダクション:スープレックス、エムアールビー
配給・宣伝:日活
公式HP:www.kss-movie.com/hitokiri/
2003年製作/カラー/ビスタ・サイズ/ 121分
©2003 ケイエスエス/日活

陽ロードショー!!
春

特別鑑賞券¥1,300(税込)
絶賛発売中!!

4/12(土)~25(金)
伊勢丹斜め向かい・新宿通り沿い
新宿東映パラス3
03(3351)3062

連日	11:50	2:05	4:20	6:35
----	-------	------	------	------

4月11日(金)
特別前夜祭先行上映
2010 新宿東映にて
●舞台挨拶あり
(出演者他予定)

3/29(土)~4/11(金)
なんば千日前ビックカメラ南側
国際シネマ
06(6641)9932

連日	17:05	19:15
全日劇場予約	21:25 23:35 1:45	3:55-6:00

※特別鑑賞券は発売致しません。

4/12(土)~25(金)
地下鉄・飯島・天神橋6丁目駅・天六文芸点北へスク
奏ホクテンザ・1
06(6351)2833

連日	11:00	13:20	15:40	18:00	20:20
(おまかせ予約)	22:40	1:00	3:20-5:30		